

## 11月・ゲルマニウム半導体 放射能測定装置が稼働

町では、東京電力福島第一原子力発電所の事故を受け、昨年7月からNaIシンチレーション式放射能測定器を用いて食品などの放射能測定を行ってきました。その結果、「広報おのまち」でたびたびお知らせしてきたとおり、ごく一部の品目を除いて安全が確認されています。しかし今年4月から食品中の放射能基準が厳しくなり、特に飲料水はさらに精密に測定する必要が生じてきました。

これを受け町では、より精密に放射性セシウムを測定できるゲルマニウム半導体放射能測定装置を導入し、11月から稼働させることとし

ました。測定品目は主に飲料水、乳児用食品などとする予定ですが、受け付け方法などは別途行政区回覧でお知らせします。なお従来の測定器もこれまで同様に受け付けますので、さらなる安心のためご利用ください。

### ■放射能測定に関するお問い合わせ

町民生活課 ☎ 72-6933



▷ゲルマニウム半導体放射能測定装置（鉛の遮蔽体を開けたところ。重量はおよそ1.5トﾝ）

## 放課後児童クラブから



放課後児童クラブ（学童保育）は、子どもたちが「ただいまあ〜」と帰ってくる生活の場所です。

元気に登園すると、宿題を済ませて、自分の好きな遊びを見つけ遊び始めます。異年齢の友達と関わりを持ちながら、放課後の時間を過ごしています。

暑い夏でも元気いっぱいの子どもたち。暑さに負けず遊び回る姿は、頼もしい限りです。

夏休みには、しゃぼん玉遊びや大好きな水遊びを満喫しました。クラブでの夏休みの体験は、子どもたちにとって楽しい夏休みの思い出になるとともに、子ども同士のつながりをいっそう深めてくれるようです。子どもたちの夏に蓄えた力が、秋になってどのように発揮されるか楽しみです。

## 公立小野町地方総合病院から

### ◎「地域医療体験セミナー」を開催しました

医学部進学を希望する県中・県南地区の高校2年生を対象とした「地域医療体験セミナー」が8月21日に当病院で開かれ、43人が参加しました。

このセミナーは、ふくしま地域医療の担い手育成事業として福島県教育委員会が主催したもので、病院などの医療機関において地域医療の現状について理解を深めるとともに、医学に対する関心をなおいっそう高めることを目的に、毎年開かれています。

今年度は、透析室やレントゲン室などの院内の施設見学を行ったほか、当病院の藤井企業長から「地域医療の現場から」と題した講義が行われました。

この体験セミナーを通して、進路の参考にさせていただくとともに、当病院を含め地域医療に貢献する人が増えることを願います。



セミナーの様子